

宇部フロンティア大学附属香川高等学校 ユネスコ部

高校生ボランティア・アワード
2021

活動概要

地域のデニム会社からいただいた端切れを用いて、放課後に反射材を縫い込んだ安全ポシェットを制作しています。被服実習の授業で余ったフリルやレース生地等もデザインに施し個性のある作品製作に努めています。また、手首に手軽に装着できる安全リストシュシュも昨年から製作を始めました。消費者に大変好評で、コンスタントに入る注文数に合わせ、制作しています。

安全ポシェットの製作

チャリティーバザー

安全リストシュシュの製作

街頭募金

◎反射材を用いた

安全ポシェット
安全リストシュシュ

▶ 地元警察署へ出荷 ▶ 地元住民の**反射材の普及**

◎小物（縫製用品など）の製作

▶ **チャリティーバザー**や
ワークショップでの販売 ▶ 発展途上国や国内被災地の教育資金として**寄付**

◎街頭募金（世界寺子屋運動）

製作活動



初出荷式

製作品



小物づくり



安全ポシェット

安全リストシュシュ

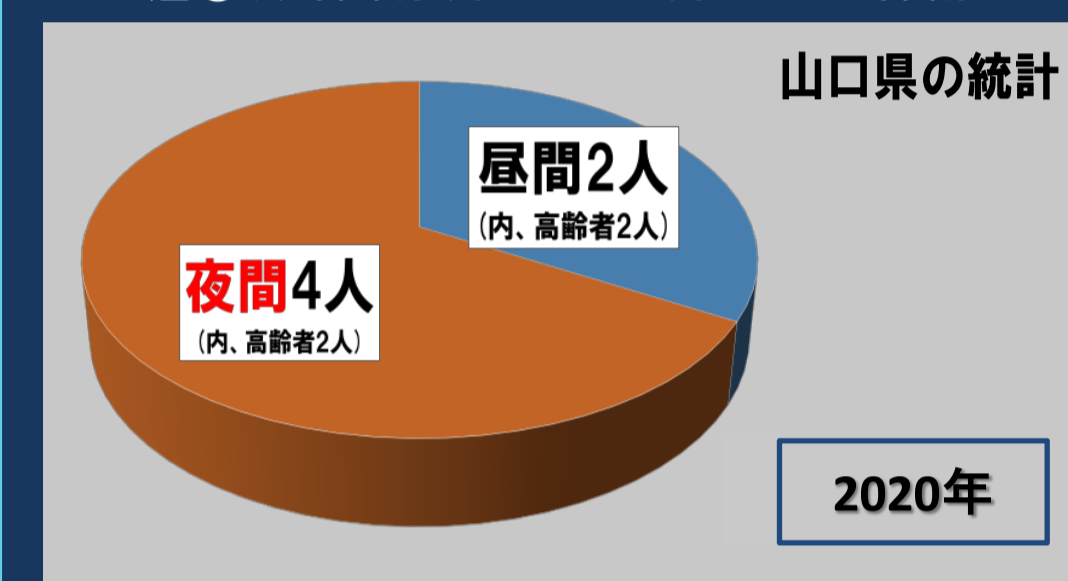
活動目的・志

「私たちの力で社会が変わる」

私たちの**時間・技術・知恵**を使って、**よりよい社会づくり**を目指しています。

私たちユネスコ部の活動目的は、日中の2倍となっている**夜間事故の被害者・加害者を一人でも減らす事**と安全ポシェットをはじめ小物づくりから得られた寄付金で、国内外を問わず、**貧困・災害により苦しんでる子供たちが少しでも満足な教育が受けられる事**です。

歩行事故死亡者6人中の昼・夜別統計
意⑧: 滝川市 ⑨: 萩市 ⑩: 萩市 ⑪: 萩市



反射材

あり

反射材

なし

活動実績

反射材付き安全ポシェット 安全リストシュシュの製作

- ・地元の警察署へ出荷
- ・チャリティーバザーで販売
(地元の祭りや文化祭にて)

反射材の普及 (収益金の寄付)



平成30年 1月11日 (木)
宇部日報記事から引用

交通事故防止

子供達の教育支援

寄付

(国内被災地・発展途上国へ)

販売

(チャリティーバザー・警察署へ出荷)

製作

(ポシェット・リストシュシュ)

・小物製作

(マスク、アクセサリ、キーホルダー等)

- ・チャリティーバザーの開催
- ・ワークショップの開催
- ・街頭募金活動(世界寺子屋運動など)

収益金の寄付



令和2年 9月29日 (火)
宇部日報記事から引用

今後の展望

地元では過疎化が進み、街灯の少ないところも沢山あります。そのような環境下、高齢者人口が増えるにつれ交通事故の犠牲者も今後ますます増加することが危惧されます。反射材の効果をもっと知っていただき、「**夜間外出には反射材**」の合言葉で、より多くの住民に活用していただきたいと願っています。そのために私達はさらに使用しやすく魅力的な新商品の開発と、精度が高く愛着を覚えるような品々の製作に努めていきたいと考えています。授業で学んでいるデザイン力・縫製技術の向上は勿論のこと、もっと地域の実態や、使用される方々の希望を調査し、実状に合った活動内容へと進化させていきます。

『平和を築くには、貧困の連鎖を断ち切るための取り組みが必要不可欠。未来を切り拓く力は基本的人権である「教育」によって育まれる。』のユネスコの理念に基づき、今後も小物製作・チャリティーバザー・街頭募金に自分の多くの時間を費やし、**災害や貧困で学びをあきらめる子ども達が一人でも減少するよう**頑張っていきます。

また、**地域の小学生や高齢者に安全ポシェットとリストシュシュの制作方法をレクチャーしながら**ともに制作する機会を設け、**交通安全への意識を高めてもらう活動を展開したい**と考えています。今年度、さっそく実施する予定でしたがコロナ禍で集合することができなくなりました。大変残念ですがコロナが収束したときに即、実施できるよう準備活動を滞りなく行っています。

活動団体プロフィール

3年8名・2年2名

(計10名)

私達ユネスコ部は被服製作の授業が多い生活デザイン科と、ミシンを使った物作りが大好きな普通科の部員で活動しています。販売するからにはプロ意識をもって製作し、不良品を出さないよう充分に点検して出荷しています。1つでも多く製作し、**貧困や災害に苦しむ子供たちが十分な教育を受けられるよう**頑張っています。

